

自己評価 チェックリスト 令和3年度		評価実地日 令和4年 2月24日	明德福祉会 取手保育園 金田 冬彦			
回答 A・・・出来ている B・・・どちらともいえない C・・・改善を要する			A	B	C	
項目	内容	A	B	C	評価・課題・改善点	
総則 保育方針 理念	1	保育所が、保育を必要とする子どもの保育を行い、健全な心身の発達を図ることを目的とする児童福祉施設であることを理解していますか	100%	0%	0%	・保育指針を踏まえ、子どもを人格を持った大切な存在として固定観念に囚われず一人一人の個性を尊重して安心安全保育を行っている。 ・心身ともに健やかな成長と発達を保証し、乳幼児期にふさわしい豊かな生活の場を職員全体で作るよう尽力している。 ・保育方針、保育目標を理解し、意識を深め保育を行っているが、全ての職員がさらに説明力を高め理解を深めながら、共通理解する努力が必要である。
	2	子どもの人権に十分配慮するとともに、子ども一人一人の人格を尊重して保育していますか	100%	0%	0%	
	3	第1章総則の1保育所保育に関する基本原則に記載された保育所の3つの役割を理解し、専門性の向上に努めていますか	37%	63%	0%	
	4	園の保育理念や保育方針、保育目標を保護者に分かるように説明できますか	26%	74%	0%	
保育の 目標	1	十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気作りを心掛けていますか	93%	7%	0%	・年齢や発育状況等の個人差はあるが、職員間でコロナ禍を考慮して見直しや改善を絶えず行い、共通理解しながら協力体制で取り組むことができた。 ・子どもの体力面、運動能力において時代の変化に応じながら保育内容を工夫していった。 ・子どもが自信を持って行動し、意欲的に活動が行えるような環境作りを行っていた。 ・基本的な生活習慣や生活する力が身につくよう一人一人に応じた関わりや支援に努めた。園と家庭との連携が大切であり、互いに信頼関係を築きながら温かい保育を心掛けていく。 ・子どもの思いを大切に、子どもが理解しやすい言葉で伝えたり、子どもの気持ちを汲み取るようにしている。
	2	保育所の特性や保育士の専門性を生かして、援助に当たっていますか	93%	7%	0%	
	3	子どもの生活のリズムを大切に、健康、安全で情緒の安定した生活ができるよう努めていますか	96%	4%	0%	
	4	一人一人の発達過程や、子どもの個人差に応じて保育していますか	96%	4%	0%	
	5	乳幼児期にふさわしい体験が得られるように、生活や遊びを通して総合的に保育していますか	77%	23%	0%	
	6	人的環境、物的環境、自然や社会事象など、人、物、場が関連し合いながら生活を送れるような環境構成をし、工夫していますか	63%	37%	0%	
養護に 関する 事項	1	一人一人の子どもが、快適で健康、安全な生活を送り、生理的欲求が、十分に満たされるようにしていますか	96%	4%	0%	・園内研修や会議にて、「養護と教育」について学び常に意識しながら保育に取り入れていった。 ・子どもの一日の生活全体を考慮し、遊びや食事、睡眠等の安定した生活リズムを作れるような保育を行うことができた。 ・安全かつ安心して快適な生活できるように室内環境構成を整える。感覚統合の発達を促し、充実した感性の育ちを育めるようにした。
	2	子どもが安心感をもって生活し、自分の気持ちを安心して表すことができるようにしていますか	100%	0%	0%	
	3	子どもの欲求を適切に満たしながら、応答的な触れ合いや言葉掛けを行っていますか	96%	4%	0%	
乳児 保育に 関わり 及ぶ 内容	1	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力の基礎を培えるようにしていますか	85%	15%	0%	・生理的欲求が十分に満たされるように応答的な関わりが行えるようにした。一人一人との時間を大切に、保育士との基本的な信頼関係や愛着が土台となって、様々なことに興味関心を持ち、主体的に関わる力を培えるようにした。 ・身近な環境に好奇心を持って、感じたことや考えたことを自由に表現する力の基盤を養えるようにした。
	2	受容的、応答的な関わりの中で何かを伝えようとする意欲や身近な人との信頼関係を育て、人と関わる力の基礎を培えるようにしていますか	92%	8%	0%	
	3	身近な環境に興味や好奇心をもって関わり、感じたことや考えたことを表現する力の基礎を培えるようにしていますか	92%	8%	0%	
1歳以上3歳未満児の 保育に 関する 内容	1	《健康》明るくのびのびと生活し、自ら体を動かすことを楽しめるようにしていますか	96%	4%	0%	・一人一人の発達や個性を理解し、家庭的な背景も考慮して保育している。 ・多様なものとの関わりの中で、子どもの表現を通し経験豊かにのびのびと過ごせる内容に留意できた。 ・生命の保持と5領域を通じた保育を行えるようにさらに主体性を伸ばす保育を行う為、スキルを図る必要がある。 ・自由遊びが自主的にできる環境を整えた。安全に配慮しながら遊びがより展開できるように工夫する。 ・言葉で表現する楽しさが味わえるように、繰り返し絵本や紙芝居を見たり聞いたりできるように多く取り入れていった。 ・子どもの気持ちを尊重し、楽しく生活できるように身近な人と関わる機会を持ち、心地よさを味わえるように心掛けた。 ・子どもの理解に努めてきたことで、子どもから「やりたい」という思いを発信するようになった。保育内容がマンネリ化しないように、工夫した保育を行えるように、職員間で話し合うことができています。 ・子どもの気持ちを理解する上で、考えが一方的にならないようにしている。子ども一人一人の発達の連続性を保証し、寄り添う保育の充実を図る。
	2	《健康》食事、排泄、睡眠、衣服の着脱、清潔などは、子ども一人一人の状況に応じ、子どもの気持ちを尊重して対応していますか	96%	4%	0%	
	3	《人間関係》保育園での生活を楽しく身近な人と関わる心地よさを感じられるようにしていますか	100%	0%	0%	
	4	《人間関係》子ども一人一人が自己発揮しながら、様々な場面で他の子どもとの多様な関わりが持てるようにしていますか	88%	12%	0%	
	5	《環境》身近な環境に親しみ、触れ合う中で、様々なものに興味や関心をもてるようにしていますか	100%	0%	0%	
	6	《環境》様々なものに関わる中で、発見を楽しんだり、考えたりすることができるように援助していますか	88%	12%	0%	
	7	《言葉》言葉で表現する楽しさを感じられるようにしていますか	100%	0%	0%	
	8	《言葉》楽しい雰囲気の中で、言葉のやり取りができるように、子ども同士の仲立ちをしていますか	92%	8%	0%	
	9	《表現》身体の諸感覚の経験を豊かにし、様々な感覚を味わえるようにしていますか	62%	38%	0%	
	10	《表現》身近に経験したことや生活の中で興味のあることを、自分なりにイメージを広げて表現できるようにしていますか	69%	31%	0%	

項目	内容	A	B	C		
ねらい及び内容 3歳以上児の保育に関する内容	1	《健康》明るくのびのびと行動し、充実感を味わえるようにしていますか	96%	4%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 四季を通じて自分が育っている保育園や境内、地域の自然の移り変わりを感じる機会を持たた。このことは子どもの興味関心を持つ力を伸ばし、情緒を豊かにすることにもつながっている。 知的好奇心や探究心等が育まれるように、保育士は一人一人の思いや考えを把握し、適切な環境を提供できるように努力している。援助の際は、子どもが理解しやすいような肯定的表現を用いている。 コロナ禍において、園児の人数を考慮しながら、園庭や室内の使い方を工夫して、運動遊び体操教室、集団ゲーム等を設定し、活動量が不足しないように留意した。 生活の中で、文字や数字への関心が深まるような保育内容を取り入れることができた。 生活のことや出来事等を、言葉で上手く伝えられないことがあるので、生活発表の時間に力を入れていき、話すこと聞くことの楽しさや喜びを味わい姿勢を養えるようにした。 やるべきことに追われてしまいやすいが、保育士として、心に余裕を持ち保育に当たれるようにしていく。 日本の伝統を重んじて、調べたり経験できる機会を設定した。また多様な国の文化にも触れられるようにしている。
	2	《健康》子どもが自分の健康に関心をもつことや、友達を大切にしている気持ちにつながるように保育の配慮をしていますか	96%	4%	0%	
	3	《人間関係》保育園の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わえるようにしていますか	88%	12%	0%	
	4	《人間関係》友達と積極的に関わりながら遊び、気持ちを共感する機会を大事にしていますか	96%	4%	0%	
	5	《環境》身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもてるようにしていますか	81%	19%	0%	
	6	《環境》文字や数量、図形などに関心をもつように、生活や遊びの中で工夫して保育していますか	69%	31%	0%	
	7	《言葉》人の言葉や話をよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わえるようにしていますか	65%	35%	0%	
	8	《言葉》子どもたちと親しみをもって、日常の挨拶を交わし合ったり、生活に必要な言葉を大切に知らせてあげていますか	96%	4%	0%	
	9	《表現》生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しめるようにしていますか	73%	27%	0%	
	A	10	《表現》一人一人の表現の過程を大切にし、自己表現を楽しめるよう心がけていますか	77%	23%	
対長時間保育に する配慮	1	長時間保育の為に、家庭的な雰囲気を作ることに配慮していますか	92%	8%	0%	<ul style="list-style-type: none"> クラス保育を行っているので、他のクラスが見えにくい。互いに状況報告をこまめに行って、共有できるようにした。 安心安全で愛情ある環境作りをし、視診問診、保護者への伝達に力を入れる。(引継ぎノート) 早期、延長保育の中でも「養護と教育」を意識した保育ができるよう努力する。落ち着いた過ごせる環境作りを工夫する。 玩具の点検、消毒をしたものを使用する。数や質の充実した玩具を提供、補充する。
	2	長時間保育では、異年齢児の関わりを大切に、安心・安全保育を行っていますか	62%	38%	0%	
	3	長時間保育の為に、好きな遊びが展開出来るような環境作りを心掛けていますか	73%	27%	0%	
	B	4	行事は、子どもの生活上の意義を十分検討した上で、内容、実施回数について評価・改善を行っていますか	57%	43%	
障がいのある子ども の保育	1	障がい児保育について保育の内容や方法に配慮し、職員間で話し合い、共通理解を図っていますか	83%	13%	4%	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子どもの発達に応じて保育できるように、個別の支援計画を作成し要求に温かく丁寧に応える。 専門機関や保護者と連携を図りながら、細やかな関わりに努めた。 障がいのある子どもや支援が必要な子どもが、集団の中で楽しく安心して生活し、自らの力を発揮できるようにする。 専門知識の向上の為、さらに積極的に学ぶ。 連絡事項や今後の方向の共通理解を図った。
	2	不安や焦り等の悩みを抱えている保護者の気持ちの援助に心掛け、相談のつり情報を提供していますか	42%	58%	0%	
	3	障がいのある子どもの保育について、園全体で話し合う機会をもち、共有することができていますか	63%	33%	4%	
	B	4	障がい児保育に関する研修を受けたり、専門誌を用いて進んで学び、知識を高める努力をしていますか	24%	44%	
全体的な計画の作成	1	全体的な計画は、長期的な見通しをもって、職員全体で作成、共有していますか	77%	23%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 個別の記録を記載し一人一人に配慮している計画となっている。 職員間で共有して保育に反映している。全体計画、年間、月、週、日へときちんと連動性を持った内容となっていて、評価が次に生かされている。 一人一人の良い点、配慮事項については、会議等で細かく話し合い、反映できるように具体化していく。 戸外遊びや散歩の機会を、社会情勢も配慮した上で、最善の計画となるようにした。 日々子どもたちに目を向け、保育園全体で保育理念・保育方針や目標を踏まえて保育にあたれるようにする。 子どもの育ちの援助だけでなく、保護者支援にも意識を高く持ち、計画する。 一人一人の育ち等に配慮し、5歳児は小学校就学に円滑な接続ができるようにした。
	2	子どもの生活や発達を見通した長期的な計画と、より具体的な子どもの生活に即した短期的な指導計画を適切に作成していますか	77%	23%	0%	
	3	指導計画においては、子どもの発達過程を見通し、生活の連続性、季節の変化を考慮していますか	91%	9%	0%	
	4	生活のリズムや在園時間が異なる子どもが共に過ごすことを踏まえ、活動と休息、緊張感と開放感の調和を図るよう配慮していますか	91%	9%	0%	
	5	子どもの主体的な活動を促すために、情緒の安定や発達に必要な豊かな体験が得られるような内容を作成していますか	82%	18%	0%	
	6	子どもの活動の展開に合わせて、援助の仕方が具体的に指導計画に記載できていますか	64%	36%	0%	
	A	7	自分の保育並びに計画を客観的に評価して、反省点を次の保育に生かすよう努力していますか	91%	9%	
と小の連携	1	保育所保育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解していますか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により、小学校との行き来がほとんどできなかった。互いのカリキュラムの取り組みを情報交換しながら、オンライン等の相互交流により滑らかな接続は行えた。 保育園は「養護」と「教育」を一体的に行う場であることを理解する。 今まで以上に、創造的な思考、主体的な態度の基礎を培う。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を全職員が共有する。
	2	小学校教育との円滑な接続(連携)のために、どのような配慮をしているか説明できますか	26%	61%	13%	
	B	3	普段の保育記録が、「保育所児童保育要録」の記入に役立つように記載していますか	68%	32%	

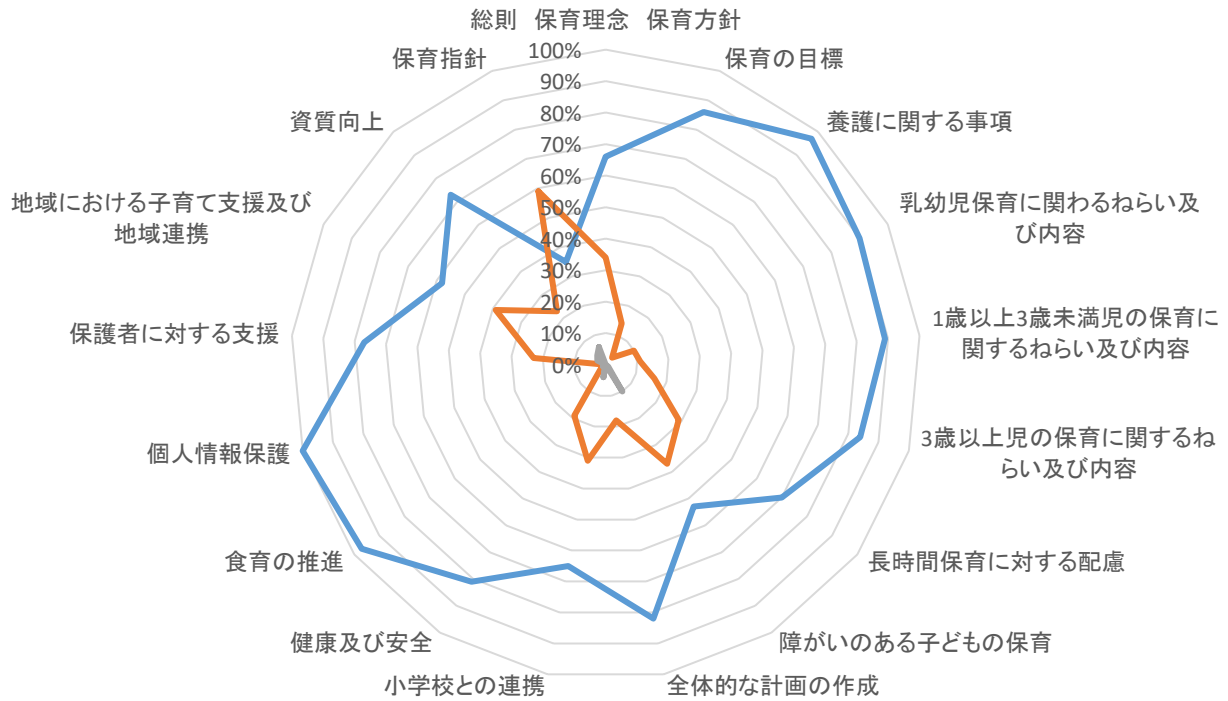
項目		内容	A	B	C	評価・課題・改善点
健康及び安全	1	子どもの健康状態並びに発育及び発達状態について、定期的・継続的に、また必要に応じて随時把握していますか	89%	11%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・事故、怪我のないよう職員全体で声を掛け合う。 ・各マニュアルの確認、改善を行い園内研修等で周知した。 ・けいれん、怪我対応訓練を取り入れる。 ・園便りやクラス便り、連絡帳にて、感染症等の周知に力を入れる。掲示板の活用充実。 ・快適な環境作りを今後も工夫していく。 ・不審者対応訓練は、警察の協力を今後も続け、意識を高めていく。 ・早朝、延長保育中にも実施できたことが良かった。 ・さすまたを、ばらぐみに置き、すぐに手に取れるようにする。 ・嘔吐処理訓練では、以前より感染対策に難しさがある。さらに改善し繰り返していくことでクラスターの防止に努める。 ・ヒヤリハット報告書を活用し、一層事故の防止に努める。 ・様々な場面を想定した訓練や研修を今後も継続して行い、職員の危機管理意識を高めていく。
	2	全体的な計画や保健計画に基づいて、ねらいや内容を踏まえ、子どもの健康の保持及び増進に努めていますか	84%	16%	0%	
	3	感染症予防に力を入れ、発生時は、発生の状況を把握して対処していますか、嘔吐訓練を反映できますか	56%	44%	0%	
	4	子どもの体調や怪我に常に注意を払うと共に、危険予測・防止に留意し、発生時には処置や園長・主任への報告・家庭への連絡を速やかに行っていますか	88%	12%	0%	
	5	避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実践していますか	92%	8%	0%	
	6	災害が起きたときや、不審者が侵入したとき、自分はどうに対応するか理解していますか	67%	33%	0%	
	A	7	園内の清掃、遊具・玩具・用具の点検を行い、清潔に保たれ、子ども達が心地よく過ごせる配慮をしていますか	88%	12%	
食育の推進	1	子どもが楽しく食事出来るように、食育計画を立て、温かい雰囲気作りをしていますか	95%	5%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士や調理師との連携により、子どもたちの食に対する喜びとなり、関心が高まっている。 ・その日ごとの個別給食対応の記載、産地掲示が分かりやすい。 ・アレルギー食の対応が顔写真付きになり、調理から保育士への受け取り確認記載により、今まで以上に適切な提供につながっている。一人一人に合わせた献立作成に尽力できている。 ・保護者とも話し合い、医師の意見を反映させて作成できている。 ・専門的知識を取り入れ、楽しい食事ができるよう計画していく。
	2	紙芝居・絵本を通して、食べ物への興味・関心をもつことが出来るように働きかけていますか	100%	0%	0%	
	3	食物アレルギーの子どもに対して、医師の診断を基に適切な提供が来ていますか	96%	0%	4%	
	4	食事のマナーが身に付くようにしていますか	100%	0%	0%	
	A	5	自然の恵みとしての食材・調理した人への感謝の気持ちかもてるように心掛けていますか	96%	4%	
個人情報保護	1	業務上で知り得た子どもの情報に関する守秘義務について理解していますか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護方針を確認し、全職員に守秘義務を課し職務で知り得た情報の漏えいがないように努める。 ・書類の管理をさらに厳重なものにし、取り扱いに十分注意している。
	A	2	保護者からの相談の内容の守秘義務について理解していますか	100%	0%	
対保護者に対する支援	1	子どもやクラスの状況を最大限に保護者に伝え、保護者の話も丁寧に受け止め、共通理解を得るようにしていますか	76%	24%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・園便り、クラス便り、連絡帳にて保護者に分かりやすいように様子を伝え、関心を持ってもらう。送迎時のコミュニケーションを大切にす。 ・子育ての楽しさが共有し合えるようにする。 ・言葉遣いに注意し、気持ちの良いコミュニケーションを図り、信頼関係を築く。 ・保護者からの質問に対して、迅速な対応ができていないことがあったので、きちんと行えるようにする。 ・電話等で伝わりにくいこともあり、話す内容をしっかりと整理する。電話対応の仕方についての研修を設け向上を図る。 ・保護者の気持ちに寄り添い、信頼関係が築けるように、傾聴の姿勢を大切にする。 ・園での子どもの様子が、より分かり易いように意欲的に伝える場作りをした。
	2	保護者が子どもの成長に気付き子育ての喜びが感じられるように努めていますか	96%	4%	0%	
	3	保育の活動に関する保護者の積極的な参加が、保護者の子育てを自ら実践する力の向上になることから、促す努力をしていますか	42%	58%	0%	
	4	保護者に育児不安等が見られる場合には、個別の支援を行うように努めていますか	57%	43%	0%	
	5	虐待が疑われる場合には、速やかに報告、対応できるよう心掛けていますか	100%	0%	0%	
	6	保護者の話やクレームを、園長・主任に報告し、誠意をもって保護者対応することが出来ていますか	84%	16%	0%	
	B	7	正しく丁寧な言葉遣いで話していますか 又、保護者に対して敬語で話していますか	81%	19%	
及び地域連携	1	地域の子どもについての保育ニーズを把握しようと努め、関係が適切に保たれていますか	26%	70%	4%	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度もコロナ禍により子育て支援を中止することが多かった。 ・感染症が落ち着いたら、園庭開放も再開し、親子で遊べる環境を設け、発信していきたい。 ・子育て支援の質問等は、職員全体でも意見を出し合いながら行えた。 ・散歩等で地域の方との挨拶を大切にし、コロナ禍でも人と関わる楽しさを感じられるように心掛けた。 ・実習生の受け入れは、感染症に最善の留意を図り実施した。子どもたちはバリエーションに富んだ保育技術に触れられ楽しめた。また職員にとっては、新たな内容を学ぶ機会となり資質向上につながっている。
	2	子育て支援に力を入れ、楽しい内容・親同士のつながりになるよう工夫していますか	41%	59%	0%	
	3	子育ての楽しさに共感し、悩みを聞いたり、子どもの発達や病気の対応、食事の相談等を積極的に行えていますか	50%	45%	5%	
	4	地域の方との交流の中で、子どもが楽しく過ごし、充実感を味わうことが出来るように配慮していますか	36%	55%	9%	
	5	園の周りの方々と、温かく良好な関係が築けるように、日常的な挨拶や心を込めた話し方が出来ていますか	100%	0%	0%	
	B	6	実習生・体験学習・ボランティアを受け入れるときは、目的や意義を理解して指導出来ていますか	96%	4%	

項目		内容	A	B	C	評価・課題・改善点
資質向上	1	勤務時間・提出期限をきちんと守れていますか	93%	7%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が、子どもの発達を捉えるために話し合いの場をもち、自由に意見交換しながら最善なものを選びだせるようにする。 苦手な分野や難しい内容についても努力をし向上できるようにする。 職員同士が気持ちよく、苦手分野の協力を惜しまず、園全体の向上に努める。 自己評価を行い、グループでの話し合いを持つことで、意見を発表する力が伸びてきている。また、意見を受け入れることも大切であり、その力が子どもを保育する上で生きてきている。 保育の質を高め合い、他のクラスの活動サポートが充実できるようにする。 日頃から整理整頓をし、子どもの安全かつ、清潔な生活を目指していく。 オンライン研修への積極的参加ができた。非常勤保育士も学ぶ機会が増え、自分の考えを深め広げたり、他の職員に発信したり共有を図れた。 自己研鑽の数値が低い点は改善し、保育を見直し、新しい知識を得ることに励めるようにする。
	2	好感の持てる挨拶・電話・来客対応が出来ますか また、社会人としての正しい振る舞いが出来ますか	89%	11%	0%	
	3	言葉遣いや身だしなみに気を付け、笑顔を心掛けていますか	100%	0%	0%	
	4	職員相互がそれぞれ全体的立場を理解して、園の運営の為に、協力や助言をしていますか	88%	12%	0%	
	5	子ども親・保育親の確立の為に研究・研修会への積極的な参加を行っていますか	37%	37%	26%	
	6	職員同士理解し合い、保育の中や会議等で積極的に意見しながら、連携を取って円滑な園運営に尽力していますか	67%	29%	4%	
	7	保育士としての人間性や倫理観を高めるために自己研鑽していますか	46%	54%	0%	
	A	8	自己評価で課題を見つけ、改善に力を入れていますか	67%	33%	
保育指針	1	乳児期の3つの視点を考慮した上で、適切な関わりをしていけるよう学んでいますか	41%	56%	3%	<ul style="list-style-type: none"> 会議等で、保育指針の読み合わせをしたり、事例を用いて職員同士で意見交換をすることで指針の理解を深められるようにしている。 数値の低さの改善として、職員が日々保育実践を通じて、必要な知識及び技術の習得を図り、職員同士が主体的に学び合う機会を多く持てるようにしていく。
	2	育みたい資質・能力の、3つの柱を考慮した上で、適切な関わりをしていけるよう学んでいますか	30%	63%	7%	
	B	3	幼児期の終わりまでに育って欲しい「10の姿」を考慮した上で、適切な関わりをしていけるよう学んでいますか	33%	60%	

	A	B	C
総則 保育理念 保育方針	66%	34%	0%
保育の目標	86%	14%	0%
養護に関する事項	97%	3%	0%
乳幼児保育に関わるねらい及び内容	90%	10%	0%
1歳以上3歳未満児の保育に関するねらい及び内容	89%	11%	0%
3歳以上児の保育に関するねらい及び内容	84%	16%	0%
長時間保育に対する配慮	70%	29%	1%
障がいのある子どもの保育	53%	37%	10%
全体的な計画の作成	82%	18%	0%
小学校との連携	65%	31%	4%
健康及び安全	81%	19%	0%
食育の推進	97%	2%	1%
個人情報保護	100%	0%	0%
保護者に対する支援	77%	23%	0%
地域における子育て支援及び地域連携	58%	39%	3%
資質向上	73%	23%	4%
保育指針	35%	59%	6%

【 評価:レーダー 】

— A — B — C



【保育園の評価】

今年度も昨年度同様、コロナ禍により感染症対策を講じながら行事を行ったり、生活習慣を見直し適切に浸透できるようにしてきた。保護者の理解を得る為に具体的に説明していくように尽力した。職員伝達の仕方として、園長、主任、副主任を通し、クラス主任、常勤非常勤リーダーの流れを再確認し、職員全体の意識向上を図り、専門的知識の交換の場を多く持つ。研修報告も力を入れ、全員に周知する。前向きな姿勢をもって話し合いながら、園全体で保育に当たれるようにする。保育所保育指針を学び、良い保育を提供できるよう職員一人一人、自己研鑽に努める。保育や子どもへの関心を深め、向上心を持ち、課題に取り組むことができるようにする。